

## 特別公開講座の開催にあたり

平素より本学の活動にご理解、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本学では研究上の成果とリソースを、広く一般の方々にご紹介する機会の一つとして、長年にわたり公開講座を行なって参りました。このたびの特別公開講座は、今まで参加が難しかった方にも受講しやすいよう、より多くの方に受講いただけるオンライン形式で開催することにいたしました。これを機に、是非多くの方々にご参加いただきますと幸いです。

文化学園大学・文化学園大学短期大学部 公開講座実行委員会

### 【講演要旨】

工芸と言われる分野の中でも伝統工芸とは、古いものを模倣しそれを継承するのではなく、その時代に即した表現や技法の工夫によって革新的な作品を追究することであるとされる。

日本の金属工芸には、室町時代後期から江戸時代にかけて独自の発展を遂げた「色金(いろがね)」といわれる合金技法があり、化学変化による伝統的な着色方法によって各金属の錆色を出すことが出来る。

本講演では、現代作家による多様な作品の技法解説を交えながら、新たな取り組みをご紹介します。さらに、自身の制作技法と表現への挑戦を解説すると共に技術の保存継承活動をご紹介します。

### 【講師略歴】 押山 元子(おしまもとこ) 文化学園大学造形学部 教授

文化女子大学家政学部生活造形学科(現:文化学園大学造形学部デザイン・造形学科)卒業

立教大学大学院ビジネスデザイン研究科博士課程前期修了

主な研究として、伝統的素材を使用した金属表現の技法と工芸の可能性を追究し、(公社)日本工芸会主催の公募展などに発表。ジュエリーへの工芸技法応用の可能性及び伝統工芸技術保存継承に取り組む。

(公社)日本工芸会正会員/金工部会幹事 山梨美術協会会員

- 1996 第36回伝統工芸新作展(現:東日本伝統工芸展) 奨励賞 受賞
- 2001 第18回淡水翁賞 受賞/(公財)美術工芸振興佐藤基金主催
- 2003 第32回伝統工芸日本金工展 日本工芸会賞 受賞
- 2010 第50回東日本伝統工芸展 第50回展記念賞 受賞  
東日本伝統工芸展第50回記念特別展「21世紀の伝統工芸—世界の眼—」/MOA美術館
- 2014 第43回伝統工芸日本金工展 東京都教育委員会賞 受賞
- 2015~ ASIA WEEK NEW YORK/ONISHI GALLERY 企画(New York, 米)
- 2017 第46回伝統工芸日本金工展 東京都教育委員会賞 受賞
- 2019 A TRADITION OF EXCELLENCE: Japanese techniques in contemporary metal arts 2019/(Chicago and Penland, 米)
- 2021~2022/4 Japan A History of Style(作品收藏)/The Metropolitan Museum of Art(New York, 米)

## お申し込みから受講までの流れ

### 特別公開講座特設サイトへ

講座の詳しい内容とオンラインでの受講についてご案内しています。



### オンラインでの受講手続きと準備

受講のお申し込みは特別公開講座特設サイトから受け付けます。

申込期間:2022年1月24日(月)~2月18日(金)(24:00まで)

- ※ 講座開催にはZoomウェビナーを使用いたします。  
講座の参加URLやウェビナー IDなどをお送りいたします。
- ※ パソコン、スマートフォンなどインターネット環境、Zoomのご利用手続きなどは、事前に申込者ご自身でご準備ください。

### 講座当日

お送りする参加URLにアクセスして、受講いただきます。  
受講後、簡単なアンケートに回答をお願いいたします。

【お問い合わせについて】 本講座に関するお問い合わせにつきましては、特別公開講座特設サイトのご案内やリンクしておりますマニュアルをご参照くださいますようお願いいたします。